

児童虐待事件における市町との連携

杉本 熊野 議員
(新政みえ/津市選出)

問

鈴鹿市で起きた児童虐待事件は、市町の担当者や県の児童相談所、関係機関が情報を得て関与しながら重篤な事態となりました。

県は、児童福祉法改正により第一義的な相談窓口となった市町と役割分担しながら、さまざまな取り組みを行っていきまが、その中で明らかになった課題と、課題に対する県の対応について伺います。

答

担当者が異動した時の引き継ぎや、市町と児童相談所との役割分担の不明確さなどは他県の事例とも共通した課題です。

このため、各市町の「要保護児童対策地域協議会」で情報共有などがしっかりとされるよう、児童相談所がより積極的に参加し、役割を果たすことが重要であると考えています。



その他の質問事項
○「子どもの権利条例」制定に向けて

「この国」を実現する政策の方向

中森 博文 議員
(自民みらい/名張市選出)

問

全国知事会の「この国のあり方」に関する研究会」では、将来に希望を持って生きられる社会を実現するための「政策の方向」の柱を示しています。

その柱の一つである「生活保障」としての安心して生活できる環境づくりを進めるため、新卒者を受け入れる事業主に対して、一人につき年間100万円を支給する「トライアル雇用制度」を導入してはいかがですか。

答

この制度は、雇用主は極めることが、また、新卒者も企業の業務内容などを実際に把握することができるかと考えられます。

本県での実施については、緊急雇用創出基金事業の取り組み状況や国の施策、他県の状況などを踏まえ、今後、総合的に検討していきたいと考えます。

その他の質問事項
○教育改革 ほか



伊賀地域の救急医療体制

森野 真治 議員
(新政みえ/伊賀市選出)

問

伊賀地域では、3病院による輪番体制となっておりますが、医師不足に伴う受け入れ拒否の増加や、救急搬送に時間を要するなど、状況が悪化しています。

改正消防法の施行に伴い、救急搬送・受け入れについての実施基準の策定が求められる中、救急医療体制を向上させる搬送先病院の選定支援システムの構築が待たれます。基準策定について、今後の見通しを伺います。

答

三重県救急搬送・医療連携協議会を設置し、消防機関が保有する救急搬送に関する情報分析などを行ってまいります。



また、傷病者の状況などに応じた適切な医療機関へ搬送するための基準などについて、既存の取り組みと整合を図りながら検討しており、実施基準の早期策定に向けて取り組んでいます。

その他の質問事項
○福祉医療費助成制度 ほか

JR名松線の存続

前野 和美 議員
(自民みらい/津市選出)

問

昨年、台風18号で被害を受けた名松線の家城・伊勢奥津間は、復旧作業が放置され、バスの代行運転が続いています。

市や県の調査では、大規模な山腹崩壊は確認できず、充分な対策を講じれば安全は確保できると聞いています。地元住民は全線復旧を強く望んでいます。が、JR東海と津市、県、地元との協議はどのように行われていますか。

答

JR東海、中部運輸局、津市、県の4者の話し合いで、JR東海は、安全安定輸送の確保には多くの不安定箇所などの改善が必要であり、工事は自治体で実施すべきとの考えを示しました。



JR名松線の現地調査

今後は、不安定箇所などの現地調査を津市とともに行っただえで、話し合いをしていきたいと考えています。

その他の質問事項
○農業政策 ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。